

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【293】
2. 日時：令和2年8月20日 10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

植木主任安全審査官、津金主任安全審査官、宇田川安全審査官、
服部安全審査専門職、堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 機器耐震技術GM 他14名※

5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性及び強度に関する説明書について、令和2年8月13日、8月14日及び8月18日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【重大事故等対処設備の動的機能維持要求の整理について】

- 「表1 JEAG 4601-1984に基づく動的機能維持要求の整理」のうちSA設備に対する事象発生後長期での地震後動的機能維持の考え方について、DB設備に対する考え方との相違点も含めて整理して説明すること。

【原子炉建屋の地震応答計算書に関する補足説明資料】

- 原子炉遮蔽壁と原子炉本体基礎の剛性の設定について、原子炉遮蔽壁と原子炉本体基礎の構造の違い及びモルタルとコンクリートの材料物性の違いを整理して説明すること。
- 「表2-1(1/3) 「大型機器系の地震応答解析モデル」と「SA時環境考慮連成モデル」の諸元比較」について、燃料交換ベローズの温度設定の考え方を整理して説明すること。

【水平2方向及び鉛直方向の組合せに関する検討について】

- 「表2 簡易評価結果でNGとなった設備」について、設計用床応答曲線Ⅰ又はⅡのどちらを適用したか説明すること。
- 「3.2 電動機の機能確認済加速度による評価」に示されるJEAG 4601-1991による評価について、「3.1 BOP閉止装置の機

能確認済加速度による評価」に示される加振試験による評価との関係性を明確にして説明すること。

【主蒸気逃がし安全弁排気管の耐震クラスについて】

- サプレッションチェンバの気相部で破損した場合の蒸気の流れについて、図を用いて説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他
なし